

疫学的視点から紐解く ワクチンの有効性と安全性 ～真の「ワクチンギャップ解消」に向けて～

大阪公立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 教授

福島 若葉 先生

日時 令和8年1月9日（金曜日） 16:10-17:40

場所 熊本大学大江キャンパス（薬学部内）
産業イノベーションラボラトリー1階 セミナー室

講演会概要

本講演では、ワクチンで予防可能な疾患（VPD）を軸に、我が国の予防接種政策の根拠法令である予防接種法の枠組み、ワクチン・ギャップやワクチン忌避といった社会的課題を解説頂きます。特に新型コロナワクチンおよびHPVワクチンを例に、ワクチンの有効性・安全性を疫学的視点からどのように評価すべきかを具体的データに基づいて解説頂きます。また「ワクチン有効率」や「有害事象／副反応」といった用語の正確な理解、市販後安全性監視の考え方を通じて、科学的根拠に基づきワクチンを判断することについて解説頂きます。奮ってご参加ください。

